

ライオン学校伝書鳩通信

～子どもはマイスター～



石巻焼きそば教室

今回の支援を行うために、いつも使用している仮設の集会所の使用申請をしようと問い合わせたところ、支援を予定していた 2 日間のうち 1 日目の午前中は「石巻焼きそば教室」という石巻焼きそばを広めることを目的とした近隣住民によるイベントが入っており、ライオン学校としては使用できない状況でした。年末ということで特別なイベントが多いのか、他の日も集会所は埋まっており、どうしようかと悩んでいたところ、私たちと顔なじみである集会所の管理人さんが石巻焼きそば教室に子どもたちと一緒に参加してはどうかと提案してくれました。実はこの管理人さんは石巻焼きそば教室の主催者の一人でもあったのです。これまでに、近隣の仮設住宅に住む方々を対象に石巻焼きそばの作り方を教えるという活動を、地元の有志の方々が行ってきており、今回は作り方をマスターした仮設住宅の方々（作り方を覚えると「マイスター」と呼ばれるようになります）が他の人々に作り方を教えるという目的のもと開催されたとのことでした。

当日の朝私たちは、子どもたちの家々をまわり「焼きそばを作りに行かない？」と声をかけました。この日は日本中が寒波に覆われ、石巻では雪が降っていて、とてつもない寒さでした。ある女の子は迎えに行くと、すごく嫌な顔をして出てきて、「寒い！家でジャニーズの動画見ていたい！」と言い、焼きそばも絶対作らないという態度でした。しかし、そんなことを言いながらも私たちについて来ます。



集会所に着いて、焼きそば作りが始まると、ある男の子は「マイスター」と呼ばれるおじさん・おばさんたちに教わりながら、はりきって私たちの分まで焼きそばを作ってくれました。作らないと言っていた女の子もだんだん興味を持ち始めたのか少しずつ調理場に近づいてきました。私たちが「作れば？」と言っても、「やだ！」と拒否して調理はしませんでした。盛り付けを手伝っていました。また、仮設に住む小学 2 年生の男の子は以前も石巻焼きそばのイベントに参加したことがあったようで、地域の人々から「子どもマイスター」と呼ばれ、1人でたくさんの焼きそばを作っていました。調理をした子どもは少数で、多くの子どもは食べる専門でしたがみんなとても楽しそうに、おいしそうに食べていました。

（石巻焼きそばを広めるために、石巻焼きそばの特徴を簡単に書きたいと思います。石巻焼きそばの特徴は、焼く前から麺が茶色い事と、出汁をかけて蒸し焼きにする事です。石巻焼きそばの麺は 2 度蒸しすることで化学変化が起きて茶色くなるそうです。また、出汁をかけることでとてもさっぱりしていました。麺も出汁も石巻のスーパーに売っているらしいのでぜひ石巻に行った際には買ってみてください。）

遊びマイスター

今回の支援では2日間とも雪が降ったりやんだりというお天気でした。「子どもたちは寒さなんて関係ないのだろう」とスタッフたちは外で遊ぶ覚悟をしていましたが、万石浦の子どもたち



ちでさえも、今回の寒さは耐え難かったようです。子どもたちはなかなか外に出ようとしませず、「なんでDSしちやいけないの?」、「トランプ持ってくればよかった。」などと言い、中で何をして遊ぶか悩んでいました。予想外の展開にスタッフたちも「皆でできる中遊びは何だろうか」と必死に考え、トランプを買いに走りまわりました。ところが、そうこうしているうちに、ある子どもが「紙にあいうえおを書いてよ!」と頼んできました。

言われるがままに、子どもたちと手分けをして五十音を書いた小さなカードを作りました。そのカードを座布団の上に並べて始められた遊びは「かるた」でした。読み札はなく、読み手役の子どもが思い付いた音を言い、それを取るというとてもシンプルなゲームは、小さい子どもも参加できる集団遊びでした。DSは使えない、トランプもない状況だったからこそ、子どもたちは自分たちの頭で遊びを考え、自分たちの手で遊びの道具を作り、皆で楽しく遊べたようです。

沈黙ということば

ずっと気になっている中学生の女の子がいます。彼女は以前と比べて話しをすることがうまくなってきました。しかし、彼女のことばには違和感を感じる時があります。彼女のことばは彼女の状況からは発せられるとは考えられず、どこかで聞いたことばをそのまま使っているのではないかと感じさせます。一方で彼女の担任の先生からは彼女が最近黙り込んでしまうことが増えたという話がありました。この子が黙り込んでしまうことは私たちの前でもよくあることです。今回の支援でも小6の子から「学校楽しい?」と聞かれ、黙り込み涙を流してしまいました。彼女は、自身が持つ本質的な課題や整理できていない問題についての話をしている時に黙り込んでしまうのではないかと私たちは考えました。彼女が黙ってしまうときは、彼女の本当の気持ちが表れている瞬間で、このときに彼女は何を感じているのか整理することが彼女の自立に必要なのではないかと思います。そこで、学校にも協力してもらい、まず彼女がどのような状況下で黙り込んでしまうのか分析するところから始め、彼女が本当の気持ちを含んだことばを獲得できるようにサポートしていきたいと考えています。

【活動記録】支援メンバー(12月14・15日) 甘利悠貴、今井美里、大林沙紀

寄付を頂いた方(10月25日~12月20日)敬称略 佐々木善仁、藤原弘輝

!!!寄付のお願い!!! 継続的な支援のために、お願い致します。

寄付を頂きました際には、お手数ですが右下記連絡先までご一報お願いします。

ゆうちょ銀行

店名:〇五八店(ゼロゴハチ店) 店番:058

番号:普通 3385189

ライオン学校(ライオンガッコウ)

※ゆうちょ銀行からの振込の場合

記号:10510 番号:33851891

グループ名:ライオン学校

TEL: 080-6554-8762(代表:今井)

Email: info.lionschool@gmail.com